第19講

データ型の対処法（1）

要約問題の基本

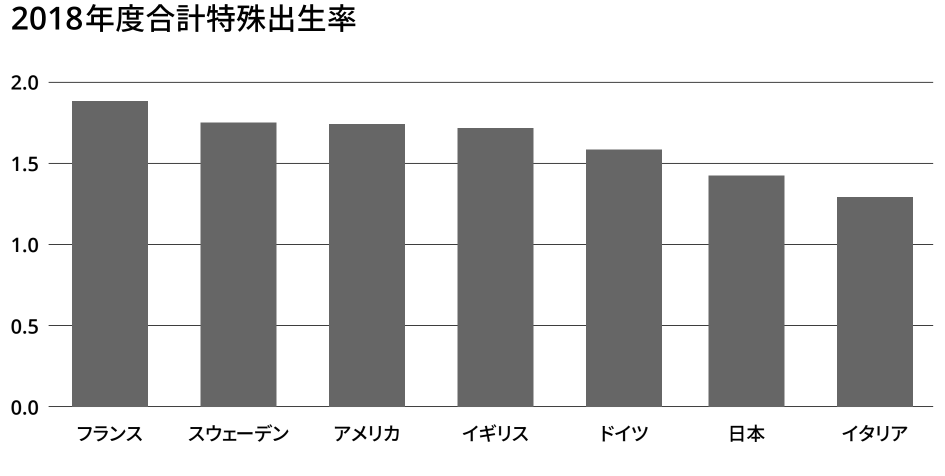
チャプター1

レクチャー

ポイント

データ型の設問の一つに（　　　　　　　　　　　）問題がある。
（　　　　　　　　　　）とは図表の（　　　　　　　　　　）をまとめたものである。
図表の（　　　　　　　　　）的な傾向と（　　　　　　　　　　）な部分に注目して読み取ろう。
グラフの特性によって注目すべきところがあるので、さまざまなグラフに慣れておこう。

○ 棒グラフ：データの大小を表す

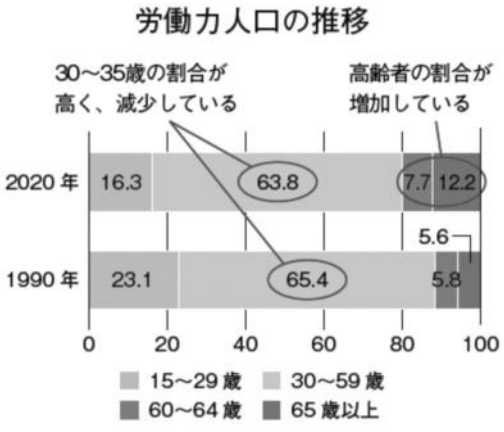


出典：『令和2年版　少子化社会対策白書』（内閣府）
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2020/r02pdfhonpen/pdf/s1-2.pdf　p6の図にもとづいて作成

生徒メモ欄

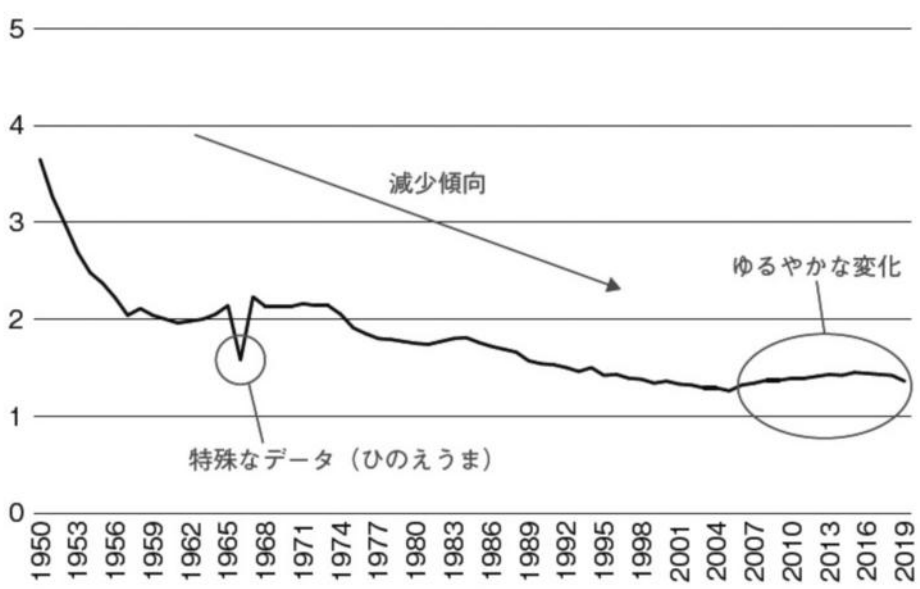
教員記入欄

○ 円・帯グラフ：割合を表す



出典左：水道水源の状況 http://www.jwwa.or.jp/shiryou/water/water02.html（公益社団法人日本水道協会）、
出典右：令和2年版　厚生労働白書「労働力人口・就業者数の推移」https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/19/backdata/01-01-03-03.html

○ 折れ線グラフ：量の変化を表す

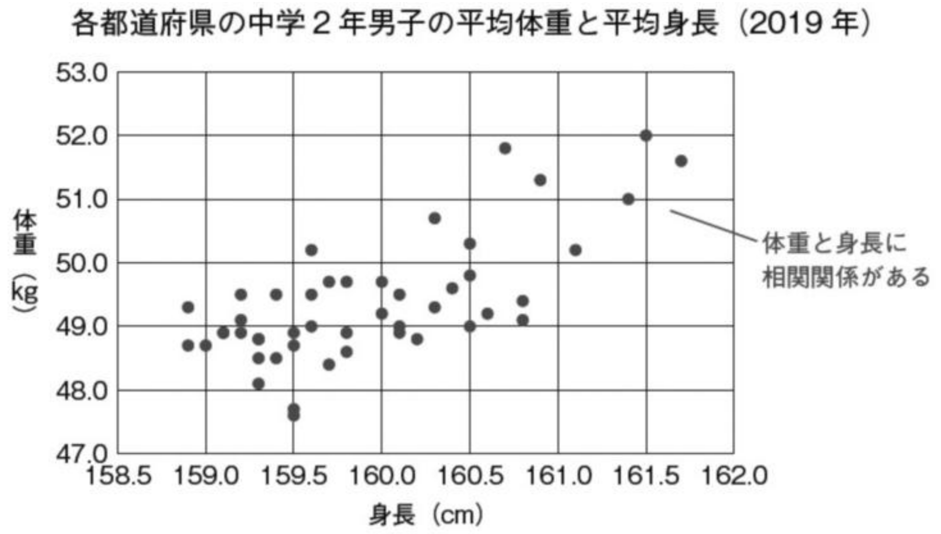


出典：令和2年版　厚生労働白書
https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/19/dl/1-01.pdf p.9（厚生労働省）に基づいて作成

生徒メモ欄

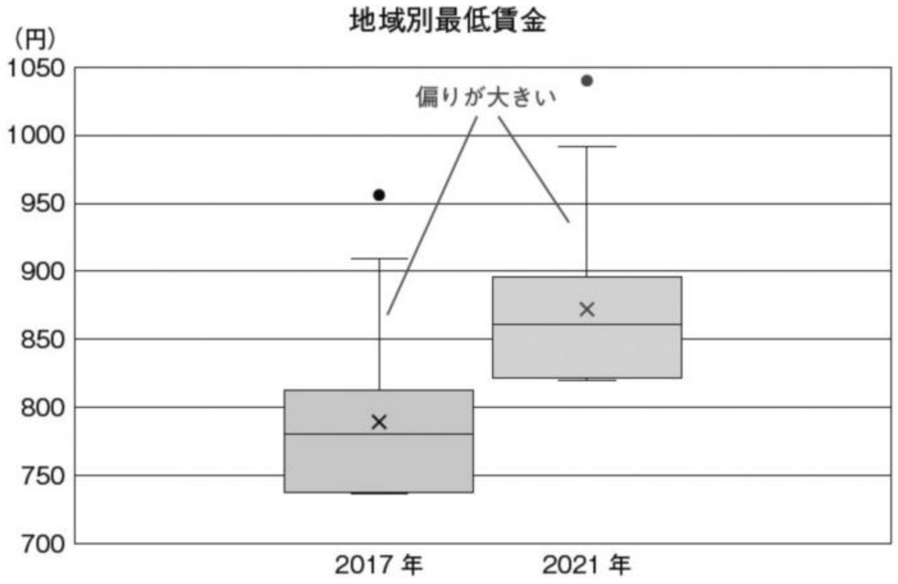
教員記入欄

○ 散布図：データの関連を表す



出典：学校保健統計調査「統計でみる都道府県のすがた」2021https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00400002&tstat=000001011648&cycle=0&tclass1=000001156246&tclass2=000001156248&tclass3val=0（文部科学省）に基づいて作成

○ 箱ひげ図：データの偏りを表す



出典：「平成14年度から令和2年度までの地域別最低賃金改定状況」（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000541154.pdfに基づいて作成

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

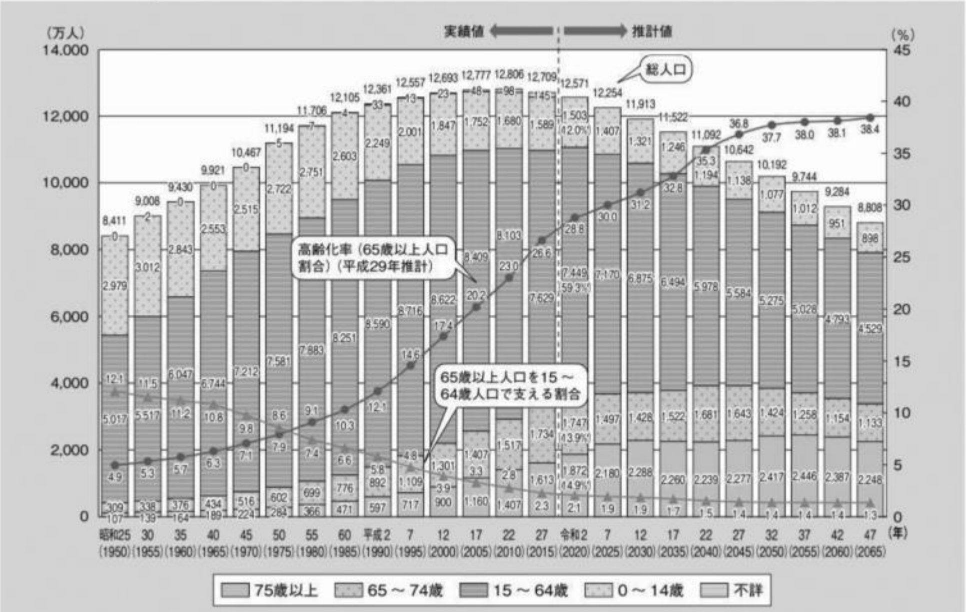
問題およびヒント①

問題を見てみよう

以下の図から読み取れることを100字以内でまとめなさい。

（オリジナル）

図1－1－2 高齢化の推移と将来推計



資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2015年までは総務省「国勢調査」、2020年は総務省「人口推計」（令和2年10月1日現在（平成27年国勢調査を基準とする推計））、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

（注1）2020年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査　年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2015年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、（注2）における沖縄県の一部の人口を不詳には含めないものとする。

（注2）沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）は65~74歳、75歳以上の人口から除き、不詳に含めている。

（注3）将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じ得るものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。

（注4）四捨五入の関係で、足し合わせても100%にならない場合がある。

出典：令和2年版高齢社会白書（全体版）
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf（内閣府）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

（　　　　字）

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

要点

①総人口は2010年まで(　　)し、その後(　　)
2010年に1億2806万人、2065年には8808万人
②高齢化率は(　　)し続ける　2015年には26.6%、2065年には38.4%
③65歳以上人口を15〜64歳人口で支える割合は(　　)し続ける
2015年には2.3人で1人、2065年には1.3人で1人の高齢者を支える

　総人口は1億3千万人弱となる2010年をピークに減少する。高齢化率は2025年には3割、2065年には4割弱と上昇する。65歳以上人口を15〜64歳人口で支える割合は減少し、2025年に2%を割る。

(88字)

　2065年には総人口は今よりも減るが、65歳以上の高齢者の割合が増えて、0から14歳の割合が減ってしまい、今よりも少子高齢化となる。一人当たりの、支える高齢者の人数が増えてしまうので、介護問題が心配となる。

(100字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

問題およびヒント②

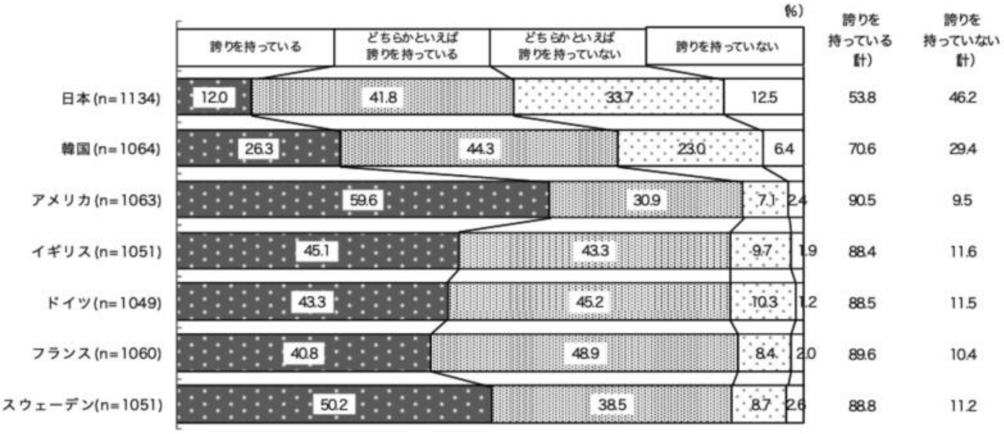
問題を見てみよう

以下の図は日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン各国の満13歳から満29歳までの男女1000サンプルを回収することを原則とした調査の結果です。質問は「あなた自身のことについてうかがいます。あなたは、正義感について誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」というものです。

この図から読み取れることを100字以内でまとめなさい。

（オリジナル）

Q2（g）正義感



出典：我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年度）
https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/h30/pdf/s2-1.pdf　p.16（内閣府）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案を
つくって
みよう

100

(　　　　字)

自己
評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例②

要点

① 「どちらか」を含めた「(　　　　　　　　　)」割合は、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデンが9割前後、韓国は7割、日本は5割

② 「どちらか」を含めた「(　　　　　　　　　)」割合は、日本が5割弱、韓国が3割弱、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデンが1割前後

「誇りを持っている」割合はアメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン・韓国が高い。一方、「誇りを持っていない」割合は日本が高く、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン・韓国は低い。

(100字)

　7カ国の中で、日本が1番誇りを持っていない人が多く、その合計は半数近くを占めている。それに対し、日本以外の国では誇りを持っている人の合計は7割を超えており、欧米では9割近くとなっている。

(94字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄